

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、該当委員会にて許可されたものです。

本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

① 研究課題名	子宮頸癌患者における放射線化学療法の治療効果判定の再評価		
② 実施予定期間	承認日～2019年3月31日		
③ 対象患者	当院にて子宮頸癌と診断され、初回放射線化学療法を施行された患者さん		
④ 対象期間	2012年1月1日～2016年12月31日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	婦人科		
⑦ 研究責任者	氏名	西田 直代	所属 病理診断科
⑧ 使用する資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療録から得る情報：診断時年齢、組織型、臨床進行期、放射線10-15Gyごとに施行された生検による組織学的効果判定、画像診断による臨床的効果判定、予後 ・ 保存検体を再調査して得る情報： <ul style="list-style-type: none"> 治療前：腫瘍細胞のp53の発現の有無 治療中、治療後 <ul style="list-style-type: none"> a) 癌細胞に認められる変化 <ul style="list-style-type: none"> (1) 核の膨化,核小体の著明化,核質の核膜への凝集,多核巨細胞の出現 (2) 細胞融解,核融解,細胞質のエオジン濃染,核濃染,奇怪細胞の出現 b) 癌胞巣に認められる変化 <ul style="list-style-type: none"> (1) 胞巣周囲の浮腫とリンパ球浸潤 (2) 癌細胞の融解脱落,リンパ球細胞浸潤 (3) 癌胞巣の虫食い状変化,縮小 (4) 異物肉芽腫,黄色腫様肉芽腫 (5) 癌胞巣の消失や石灰化 c) 間質にみられる変化 <ul style="list-style-type: none"> (1) リンパ球浸潤 (2) 組織球線維芽細胞の増殖 (3) 瘢痕組織の形成 		
⑨ 研究の概要	子宮頸癌に対する放射線化学療法の生検検体の組織学的変移や関連因子の発現を調べ、効果判定を再評価します。		
⑩ 倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2017年 8月 18日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		

⑫ 結果の公表	学会にて発表する予定です		
⑬ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際も、個人を特定できる情報は使用せず、特有の番号で管理します。学会で発表する場合も個人を特定できる情報は使用しません。個人情報責任者の設定や連結可能匿名化を行うことなどにより、個人情報の保護を行います。		
⑭ 知的財産権	聖マリア病院に属します		
⑮ 研究の資金源	なし		
⑯ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	聖マリア病院 病理診断科 西田 直代		
	電話	0942-35-3322	FAX 0942-34-3115